ReadCache システム 4.6 簡単セットアップ

※ 導入前の注意事項 ※

ReadCache4.5 以降においては、「端末側のキャッシュ領域の作り方」「ReadCache サーバーフィルターの導入が原則必須となった」点 で大きく変化しています。これらの点には特にご注意ください。

- 導入作業に取り掛かる前に、以下の処理を行ってください。
- インストール / アンインストール作業を行う際には、ウィルス対策ソフトを停止してから作業を開始してください
- 作業に取り掛かる前には、必要に応じて、ディスクのバックアップをしてください
- VHDX ファイルは利用できません。ご注意ください。

以下の手順に従い、ReadCache のインストールを行ってください。

【備考欄】

1. 旧バージョンの ReadCache のアンインストール

旧バージョンの ReadCache が導入されているときには「補足 1. 旧バージョンの ReadCache の アンインストール手順」に従いアンインストールしてください。

2. バージョン 4.6 における変更点

ReadCache4.6 での変更点は、「ReadCache4.6 リリースノート」をご確認ください。

3. PVS に対する制限事項

- < !!! 重要 !!! > PVS 7.7 以降で導入された VHDX 形式の vDisk には対応していません。
 PVS 7.7 以降ではデフォルトで VHDX 形式の vDisk が作成されるため、イメージの作成時には必ず VHD 形式に変更してください。
- PVS6 以降における「自動更新」機能や「仮想環境を用いた更新機能」を利用すること はできません。
- PVS のキャッシュモードが次のモードでは利用できません。
- サーバーに永続的にキャッシュする
- デバイス ハード ドライブに永続的にキャッシュする
- UEFI は利用できません。^(**)
 ※ ReadCache 4.6.1 のみ。ReadCache 4.6.2 以降は UEFI 環境でも利用できます。

4. モジュールの導入について

ReadCache4.6 には 4 つのモジュールがあります。下記の絵に示すように、それぞれの箇所で インストーラを実行してください。



5. サーバー側での vDisk の準備

ReadCache を導入する vDisk を準備します。

vDisk のファイル名は適切ですか?
 変更する場合には、VHD ファイル、PVP ファイルの両方を変更してください。
 ※注意事項※
 VHD ファイル名として使える文字は、英数字 ('A'-'Z','a'-'z','0'-'9') および "_(アンダースコア)",

"&(アンパサンド)", "#(シャープ)", "%(パーセント)", "+(プラス)", "-(マイナス)" の 6 つの記 号から構成される、1 文字以上 27 文字以下の文字列です。

- ◎ 良い例: Windows7.vhd
- × 悪い例: セブン.vhd、Windows[スペース]7.vhd
- 念のためにバックアップはとってありますか? VHD ファイルに重要な変更を行います。
- 導入しようとする vDisk で起動している端末がある場合はシャットダウンしてください。

6. 「.NET Framework」の導入(サーバー側)

サーバー側には、OS のバージョンに応じて、適切なバージョン¹⁾の.NET Framework が 導入されてい る必要があります。「サーバーの管理」→「役割と機能の追加」→「機能の追加」から、適切なバージョン の.NET Framework を導入してください。

7. サーバーでのインストール (サーバー側)

サーバー側では「ReadCacheServer64.msi」と「ReadCacheServerFilter64.msi」の2つのモジュー ルをインストールします。

まず、以下の手順で「ReadCacheServer64.msi」をインストールしてください。

- 1. 「ReadCacheServer64.msi」アイコンをダブルクリックし、インストールを開始します²⁾。
- 2. [次へ]→[次へ]→[インストール]→[完了]の順にクリックします。

続いて、「ReadCache サーバーフィルター」を導入します。「ReadCache サーバーフィルター」 を導入することで「ドライブマップを安心して利用できる」というメリットが生じます。導入しな いという選択もできますが、次のメリット・デメリットを確認の上で、原則として導入してくださ い³。

ReadCache サーバーフィルターをインストールしない
 × ドライブマッピングを行った後には、ReadCache ディスク管理ツールにより「ドライブ
 マッピングの後処理を行う」を必ず実行する必要があります。その際には次回端未起動時に
 端末側のキャッシュが一旦消去されることになります。

◎ ReadCache のバージョンアップ時、アンインストール時に PVS サーバーは再起動不要。

- × PVS の "KMS ライセンス対応 " "MAK ライセンス対応 " の機能は利用できません。
- ReadCache サーバーフィルターをインストールする
- ◎ ドライブマッピングを行った際においても、端末側のキャッシュが残り続けます。
- × ReadCache のバージョンアップ時、アンインストール時に PVS サーバーの再起動が必要 となる場合がある⁴。

◎ PVS の "KMS ライセンス対応 " "MAK ライセンス対応 " の機能を利用できます。

ReadCache サーバーフィルターを導入する場合には、インストーラを実行して流れに従ってく ださい。 ReadCacheの274457009-Extract 2700-Extract 2700-Extract



インストールが終了した時にサーバーの再起動が要求されることがありますが再起動は不要です。

8. vDisk の拡張 (サーバー側)

vDisk に ReadCache 用のパーティション領域を確保する為、vDisk 拡張の処理を行います。

1). 導入するべき .NET Framework のバー ジョンは、「2008 R2 では 3.5」、「2012 以降では 4.0 ないし 4.5 ないし 4.6」とな ります。

2).



3). ReadCache サーバーフィルターを導 入していない場合には、ドライブマップ を使用した後にはすぐに「ドライブマッ ピングの後処理」を行う必要があります。 詳しくは「管理者マニュアル」をご覧く ださい。

4). 厳密には、フィルタを導入した時には、次のような手順でアンインストールをした時に、サーバの再起動が必要になります。

「ReadCache フィルタをインストールし た状態でサーバーを起動したあと、マウ ントなどにより ReadCache フィルタを 一度も利用しないうちに ReadCache フィ ルタをアンインストールしたとき」

■ 注意事項1: 差分ディスクの有無について

ReadCache モジュールの導入を行う vDisk が、差分ディスク(.avhd)を使用している場合は、 そのままでは vDisk 拡張を行うことができません。

次のどちらかの対応が必要となります。

(a) PVS 管理コンソールで基本のマージをする

(b) 既存のパーティションを縮小する

差分ディスクのマージを実行することが可能な場合は、(a) を実施した後、下記「vDisk の拡張 手順」を実施してください。

差分ディスクを保持する必要がある場合は、(b) を実施してください。なお、(b) の操作手順に ついては、下記「既存のパーティションを縮小する」の手順を実施してください。

■ 注意事項2:CO-Store から vDisk をコピーした場合

CO-Store のコンソールからディスクコピーをした直後は、まだ完全にコピーが完了していません。CO-Store コンソールのタスク一覧にて、「基本のマージ」のタスクが完了したことを確認した上で、「vDisk の拡張手順」を実施してください。

■ vDisk の拡張手順

- スタートメニューから [ReadCache] → [ReadCache ディスク管理ツール]を実行してくだ さい。
- [設定する vDisk を開きます]のリンクをクリックし、vDisk へのパスを選択します。初め ての利用時には「拡張されていません」となります。[vDisk を拡張して ReadCache での利 用を開始します]をクリックして、vDisk を拡張してください⁵⁶。

₫	ReadCache ディスク管理ソール	×	ReadCache ディスク管理ツール ×
ファイル(F) 表示(V) へルプ(H)	7747.UE)	表示(ビ) ヘルプ(田)
7/6/2: (設定)	#S-vDisk 市間修ます	7/6/2:	C4VdiskWDiffWein81x88_PCxhd
10381/38:		EWINE:	結果されていなせん vDisk を結果して ReadCache での利用を開始します
系列名:		并列名:	
069ab;		リビジェント	
管理75岁:		留理25岁;	-
ReadCache	ティスジ管理ジール	Read	ache ティスク管理リール

【正常に終了した場合】

下図のように正常に拡張できた場合は次の章に進んでください。右のように表示された場合に は、以下の手順に従って対処した後に、再度 vDisk の拡張を行ってください。

	ReadCache ディスク管理ソール	x			
77411(F)	表示(V) ヘルプ(H)				
74/72:	C#vdisk#DiffNeein81x85_R0.vhd				
9238.65391	12第1日前: 12第1第曲 (パージェン 4000)				
杀刑治:	winit tollE_RD				
989au:	1 りだジェンを更新する(()	1			
管理フラヴ:	Enable, Read, Write, Flash on panic, Release on panic, Release on disk full, Duranelin, parka Development	4			
	Contraction of the second se				
	ドライブマッピングの後期増を行う(3)	1			
ReadCache ディスク管理ワール					

【ディスクの拡張に失敗した場合")

下図のようなエラーが画面が表示された場合は、本項の「注意事項1:差分ディスクの有無に ついて」をご参照ください。

ReadCache ディスケ管理ツール ×
・単的ロスージ発生しました。詳細小ビーンを確認してびだい、 評価: (1995)、(1995) (1995
「Finit: 30 Voik は思かくなたまため、Voik 09 くだをままできます いたいにしていってわったりからす場合につたりの美なくったたち、 ・ NG コンジー 人を作用してたくのなまなく、ったわう ・ コンジー 人を作用してたくのなまなく、ったわう ・ コンジー 人を作用してたくのなまなく、ったわう ・ していてきたないたちのまたのであります。 しの 日 いた 日 いた 日 いた 日 いた 日 いた 日 同様 いたわら、 用 間 VS20 ジー んちやつう くるまたまです。
ОК

5). vDisk 内にパーティションを1つ追加し ます。通常問題となることはありませんが、 この処理によって既存のパーティションに 含まれない場所のデータは書き換えられた り消去されたりする可能性があります。

この作業を行ったあとでも追加されたパー ティションを削除することはできますが、 動的サイズの vDisk の場合にはディスクの 状態は完全には元通りにはなりません。

この点が問題となるようであれば、作業前 にバックアップを取得してください。

6)		
0).	ReadGache ディスク設定サール	×
	PosoCache を動作させるためには、vDiak上にキャッシュ情報を保存する映域が 必要です。 この vDiak はその領域を確保するための「vDiak12頃」が行われていません。	
	ReadCache を導入するために vDisk を拡張してよいですか?	
	111/2011 111/2010	1
	active cooling	

ReadCache ディスク管理ツールを実行す ることで、以下の処理が行われます。

- vDisk内にReadCacheの管理用パーティ ションが作られます。vDisk内に空き領 域がないときには、vDiskのサイズが拡 張されることもあります。
- 系列名およびリビジョンが設定されます。
- ReadCache が動作するように設定されます。

 7). 拡張しようとした vDisk が「差分形式 の avhd ファイル」であり、必要なサイズ のパーティションを作成するための空き領 域がない場合には、このエラーが表示され ます。

既存のパーティションを縮小する手順



9. 作業用端末への vDisk 割り当て(サーバー側)

vDisk を更新状態にして、作業用端末を起動してください。

10. キャッシュ用パーティションの準備 (クライアント側)

クライアント側の HDD は、あらかじめ MBR 形式ないしは GPT 形式でフォーマットされて いる必要があります。また、HDD 内には、キャッシュ領域として利用するための「未使用のパー 10). .NET Framework のバージョンは、端 ティション領域」が必要です。適切なサイズの未使用領域がない場合には以下の手順で「キャッ シュ用パーティション領域」を確保してください。

1. クライアント端末を vDisk から起動してください。

2. ディスク管理ツール を起動してください。すでに物理 HDD のすべての領域が Dドライブなどとして占有されているときには、領域の縮小や 領域の解放をして 適切な容量⁹の未使用領域を作成してください。

11. クライアントでのインストール(クライアント側)

まず、適切なバージョンの.NET Framework¹⁰が導入されていることを確認してください。

また、インストール作業に必要なファイルをクライアント側に転送してください¹¹⁾。 Windows 7 (64 ビット版)は、マイクロソフト セキュリティ アドバイザリ 3033929 の更新プ ログラムである「Microsoft Windows (KB3033929)のセキュリティ更新プログラム」が導入 されている必要があります。更新プログラムが適用されていない場合には、Windows Update により事前に導入してください。

作業用端末を起動し、管理者権限でログオンします。

1. 「ReadCacheDriver.msi」または「ReadCacheDriver64.msi」アイコンをダブルクリックし、 インストールを開始します¹²⁾。

以下の画面においてはシリアルキーを入力し、[次へ]をクリックします。



2. 購入時に入手した「シリアルキー¹³」を入力すると、インストーラーは自動的にライセ ンスサーバーに接続し¹⁴、「ライセンスファイル」を入手します。

※※ インストール作業をしている PC がインターネットにつながっていないとき ※※

インストール対象の端末がインターネットに接続されていない時には以下の手順を利用して下さい

インターネットにつながった別の端末で https://www.co-conv.jp/ReadCache/license/ にアクセスして 「製品に付属するシリアルキー」を入力し、画面に表示されたライセンスファイルの内容(数行の数字・ アルファベットの文字列が表示されます)を"license.txt"という名前で保存してください¹⁵⁾。 1. 取得したライセンスファイルをインストーラと同じディレクトリに置きます。

2. Page 6 の「11. クライアントでのインストール (クライアント側)」からやり直してください。

ライセンスファイルの存在を自動的に検出しライセンスの情報が表示されます。

ライセンスの情報が表示されます。[次へ]→[インストール]をクリックします。 3

<u>i</u> l	Re	adCacheシステ	54.5 ドライバー セットアップ	- • ×		刻 ReadCacheシステム4.5ドライバー セットアップ - 🔍 💌
ライセンス ライセン	89編22 216年28년	867.0880		°_		ReadCache9.25ム4.5ドライバーのインストール単編完了
94tU	21008030	用こ成功しました。				インストールを開始さすないは (インストール)を切りりして(だた)。インストール設定を確認また は実ますないは (読る)を切りりして(だた)、ウィザードを除了すないは (キャンセル)を切りり してが思い。
2 (1)	t:	co-cow				00000
9/10)ス数:	1				
997)	b 4°−:	2-1365				
1£33		trial			1	
			展2(8) 法へ(N)	**>220		夏3日) インストール(1) キャンセル

9) キャッシュ対象とするディスク1 種類 につき 20GB 程度以上を目安としてくださ い。詳細については、「管理者マニュアル」 をご覧ください。

末が「Windows 7 の場合は 2.0、3.0 ない しは 3.5」、「Windows 8 以降 では 4.0 もし くは 4.5 もしくは 4.6」が必要となります。

11).

【クライアント OS が 32bit の場合】 「ReadCacheDriver.msi | 「ReadCacheClient. msi」をクライアント側にコピーしてくだ さい

【クライアント OS が 64bit の場合】 「ReadCacheDriver64.msi」と 「ReadCacheClient64.msi」をクライアント 側にコピーしてください。

12). ステム4.5ドライバー セットアップ 😑 🔍 🗙 ReadCacheシステム4.5 ドライバー セットアップ ウィザードへようこそ このセットアップウィザードでは、ReadCacheシステム4.5ドライバ ーをコンピューターにインストールします。続行するには、「次へ」 をりょうしてください。セットアップウィザードを終了するには、「キ 展800 X100 年92世ル

13)、シリアルキーは購入元より提供されま す

シリアルキーのフォーマット (18 桁程度の数字とアルファベット) 例:143258-a849bc-294714

14). ライセンスサーバーへの接続には HTTP プロトコル (ポート 80) を利用しま す。

15). Windows では、デフォルトで拡張子 が表示されません。ファイル名が「license. txt.txt」とならないよう注意してください。 取得した license.txt ファイルには、有効 期限が設定されています。期限が切れてし まった際には、同じ手順でライセンスファ イルを取得しなおしてください。

- インストール中に変更を確認するドライバのダイアログが表示されることがあります。[インストールする]を選択します。
 - ※ [再起動しますか?]¹⁶⁾ と聞かれたときには [後で再起動する] を選択してください。
 - ※ ドライバのインストール中に以下の様な画面が表示されることがあります。その 際には以下の「クライアントツール」のインストールをしたあとに端末をシャッ トダウンして、画面の指示に従ってください。



- 5. インストールが終了したら、「続けてクライアントツールのインストールを行う」チェック が入った状態で、[完了]をクリックして終了します。
- 引き続き、クライアントセットアップのインストーラ画面が表示されます¹⁷。[次へ]をク リックします。
- インストール方法を選択する画面が表示されるので、[次へ]をクリックしてください。
 「ReadCache システムモニター」の情報を収集するサーバーの「IP アドレス」を入力し、[次 へ]をクリックし、インストールをしてください¹⁸。

12. キャッシュに用いるディスクの登録

端末側で ReadCachePartition.exe を利用して、パーティションを作成します ¹⁹。

1. C:\Program Files\CO-CONV\ReadCache\ReadCachePartition.exe を起動してください。



 キャッシュとして利用するパーティションを選んでください。もしキャッシュ用に使える 領域がない場合には、既存のパーティションサイズを縮小するなどの作業をしてから、再 度このツールを実行してください。



3. 端末をシャットダウンしてください。

13. 動作確認

ディスクを更新状態から元に戻してください²⁰⁾。その後にクライアントを起動して ReadCache の動作を確認します。

C:\Program Files\CO-CONV\ReadCache\ReadCacheClient_GUI.exe を実行してください。タスクトレイ (画面右下)に表示されるアイコン 🍚 をクリックすると、「ReadCache クライアントツール」が表示されます²¹⁾。

これで、導入作業を行った端末での ReadCache のセットアップは完了です。

このあと、他の端末でもキャッシュが動作するようにするための手順がつづきます。

Microsoft Windows	
これらの変更を適用す 要があります。	るにはコンピューターを再起動する必
再起動する前に、開か プログラムをすべて閉	れているファイルをすべて保存して、 じる必要があります。
今すぐ再起動	する(R) 後で再起動す(L)
17).	
17). ⊯ ReadCache≫	ステム4.5 か5イアント セットアップ 🗕 🗖
17). Ø ReadCache>	ステム4.5 かライアント セットアップ
17).	ステム4.5 ウライアント セットアップ - ロ ReadCacheシステム4.5 クライアント セットアッ ブ ウィザードへようこそ このセットアップ ウィザードでは、ReadCacheシステム4.9 ライ シッチ エンジェーラー CT ストール14.9 、RF195212 (ひょ シックが入れてない、セットアップ・「中下記」 Read
17).	ステム4.5 05イアント セットアップ - ロ ReadCacheシステム4.5 05イアント セットアッ プ ウィザードへ 3つこそ このセットアップ ウィードロー seascate システル セットアッ モンシント マント・マント
17).	25-14-5 95-17ント セットアップ
17). ReadCaches ReadCaches	ステム4.5 クライアント セットアップ - ロ ReadCacheシステム4.5 ウライアント セットアッ ブウィザードへようこそ このセットアップ ウイードでは、ReadCacheシステム4.5 ウスド シルモンシュータービイントールは考え 使将考えてに、DAN もクリアンプスない、レットアップ・サード部ドで多なに、ド ペントルモックアンパイを定く

18).「ポート番号」は、原則として変更し ないでください。変更する場合には、「管 理者マニュアル」を参照し、サーバー側の 変更も行ってください。

サーバーが複数存在する場合には収集する サーバーをいずれか 1 台定めてその IP ア ドレスを入力してください。

19). 端末内のディスクはあらかじめ MBR 形式ないしは GPT 形式でフォーマットされ ている必要があります。

20).

PVS6 / 7 の場合:標準イメージ であり、か つバージョン管理をしている際にはアクセ スが保守以外の状態 PVS5 の場合:標準イメージ CO-Store 等の管理ツールを導入している場 合には、そのツールを用いて書き換えの終 了処理をしてください。

21). キャッシュの動作状況、接続状況を 確認できます。 詳細については、 「管理者マニュアル」をご覧ください。



14.他の端末でも動作するように設定する(クライアント側)

ここまでに作成したディスクを他の端末に割り付けた際にも ReadCache が動作するようにする には、他の端末の内蔵ドライブに空き領域があることに加えて「どの内蔵ドライブを ReadCache が利用するべきか」を指定するために、次のいずれかの作業を行ってください。

- (a.) 各端末において、これまでに説明したのと同様の手順で、ReadCachePartition.exe を利用 して、ReadCache 用のパーティションを作成する。
- (b.) 端末側であらかじめパーティション ID=0xF6 のパーティションを作成した上で端末を再起 動する²²⁾。(ディスクに対して Release on panic フラグが設定されている必要があります。)
- (c.) サーバー側でディスクのフレンドリー名を設定した上で端末を再起動し、5分間(標準設 定値)待機する。

多数の端末で (a) の手順を行うのは手間が大きいので、一般には (b) ないしは (c) の手順を推奨 します。なお、いずれの手順の場合でも、端末側の内蔵ディスクは MBR 形式ないしは GPT 形式 でフォーマットされている必要があります。

(b) の手順を diskpart コマンドを利用して行う手順は右の備考欄²³⁾を参照してください。

(c)の手順は以下の通りです。

ReadCache を動作させたい端末を起動してください(複数台同時に起動してもよいです)。サー バー側で ReadCache システムモニターコンソールを管理者権限で起動してください。この際、以 下の図のようにキャッシュパーティションの欄に「(なし)」と表示されて警告マークの出ている 端末についてドライブの登録作業をしてください。

đ	£.				ReadC	ache システムモニター コンソー	ル	
	ファイル(<u>F</u>)	編集(<u>E</u>)	表示(⊻) ツ−	·ル(エ) へレプ(<u>H</u>)				
	ReadC	ache シス:	テムモニター	- グループ(G):	(すべての端末)	¥		
	状態	端末名	ヒット率	キャッシュ アクセス	ネットワーク アクセス	キャッシュ モード	キャッシュ パーティション 🔺	先調
(<u> </u>	OLIENT1	0.00%	0.00MB	0.00MB	デバイス ハード ドライブにキャッシュ	(なし) VMware Virtual di	

ツールバーの「ツール」→「キャッシュディスク自動設定対象の設定」を選んでください。表示 された画面の「フレンドリー名」に登録したいドライブのフレンドリー名²⁴を入力して「追加」 を押して登録してください。もしくは、端末側にドライブが1台しかないことが明らかな場合には、 右の例のように "*" を登録することで、「端末側で見つかった最も大きな空き領域のあるドライブ」 に対してキャッシュパーティションを作ろうとします。

キャッシュディスク自動設定対象の指定		キャッシュディスク自動設定対象の指定
端末の起動後、キャッシュパーティションが存在しないときに、キャッシュ パーティションを自動生成するハードティスクのフレンドリー名を指定しま す。*を指定すると、すべてのハードティスクが対象となります。		端末の起動がま、キャッシュパーティションが存在しないときに、キャッシュ パーティションを自動生成するハードディスクのフレンドリー名を指定しま す。* を指定すると、すべてのハードディスクが対象となります。
12-2月)-名(D) VMmere Virtual diaki フレンドリー名一覧(L) 用版(D)	(7以2月)−名(F)- 「 」 「 追加(A)] 7以2月)−名一覧(L) ・ 前近家(D)
		0K キャンセル

このあと端末が起動した際に端末側で動作するプログラムによりキャッシュパーティションが 作成されます 25)。端末が起動してから 5 ~ 10 分程度後にパーティションの作成処理が行われま す²⁶⁾。

22). GPT の場合には、次の GUID でパーティ ションを作成してください。 {E982500C-0CD2-4235-87E5-0E7052DD8D23}

23). diskpart コマンドを用いて ReadCache 用のパーティションを作成する例

c:\Program Files\CO-CONV\ReadCache>diskpart Microsoft DiskPart バージョン 6.2.9200 Copyright (C) 1999-2012 Microsoft Corporation. コンピューター: CLIENT1

DISKPART> list disk

ディスク	状態	サイズ	空き	ダイナ GPT
###				ミック

ディスク0 オンライン 20 GB 9 GB

DISKPART> select disk 0 ディスク0が選択されました。

DISKPART> list partition Partition ### Type Size Offset

Partition 1 プライマリ 10 GB 1024 KB

DISKPART> create partition primary

DiskPart は指定したパーティションの作成に成功 しました。

DISKPART> list partition Partition ### Type	Size	Offset	
Partition 1 プライマリ	10 GB	1024 KB	
* Partition 2 プライマリ	9 GB	10 GB	

DISKPART> set id=f6

DiskPart は、パーティション ID を設定しました。

24). 設定するべき名前は、警告マークをダ ブルクリックした際に表示される画面の 「HDD 一覧→名前」にも表示されます。



25). 端末側でパーティションが作成される と、その1~2分後にサーバー側の表示が 更新されます。

26)

端末側で ReadCache が動作し始めるのは、 パーティションが作成された後に再起動さ れてからとなります。

補足1. 旧バージョンの ReadCache のアンインストール手順

旧バージョンの ReadCache が導入されているときには次の点に注意しつつアンインストールしてください。

対象バージョンの確認:

ReadCache4.6 は ReadCache3.5 以降が導入されたvDisk との混在環境はサポートしますが、 それ以前のバージョンのディスクとの混在環境はサポートしません。

(ReadCache3.0 等の) 古いバージョンを利用中の vDisk がある場合には、まずそれらのア ンインストールを行ってください。

vDisk 側でのアンインストール:

ReadCache4.6 を導入しようとする vDisk を更新状態 (Private モード等) にして端末を起動 し、「コントロールパネル → プログラムのアンインストール」から「ReadCache クライア ント」と「ReadCache ドライバ」を順にアンインストール²⁷⁾ してください。その後端末を 一度再起動をしてアンインストール処理を完了した後にシャットダウンしてください。 vDisk の拡張を解除する必要はありません。

27). ReadCache ドライバーの削除モード

を「標準モード」と「上級モード」とで 問われた場合には、「標準モード」を選択

してください。

サーバー側でのアンインストール:

- 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」から「ReadCache サーバー」をアンインストールしてください。
- 2. ReadCache4.0 または 4.5 の「サーバーフィルター」を導入している場合には、アンインス トールした後に再起動してください。

詳細情報は「ReadCache システム 4.6 管理者マニュアル」を参照してください。

以上でセットアップは完了です。その他、詳しい内容は「管理者マニュアル」をご覧ください。

8

※ 重要 ※「リビジョン更新について」

端末側に効率的にキャッシュを貯めるためには、vDiskの更新作業を行った際にリビジョンを更新をする必要があります。 端末は最後にリビジョン更新作業が行われたときのディスクの状態をキャッシュします。また、vDiskの更新作業を行ったあと リビジョン更新をするまでは、端末は更新された部分をキャッシュしません。

そのため、vDisk 更新をするために必ずしも毎回リビジョン更新をする必要はないですが、程よい頻度でリビジョン更新をする ようにしてください。(毎回更新をしても支障はありません。)

5	ReadCache ディスク管	理ツール ×
ファイル(F)	表示(V) ヘルプ(H)	
フルペス:	C¥vdisk¥win81_RC.vhd	
拉張状態:	拡張済み (バージョン 4000)	パーティション拡張前の状態に戻す(P)
系列名:	win81_RC	系列名とリビジョンを変更する(I)
リビジョン:	» 🤇	リビジョンを更新する(山)
		vDisk を書き供えたことにする(M)
管理フラグ:	Enable, Read, Write, Flush on panic, Release on panic, Release on disk full, Dynamic cache, Prefetch	管理フラグを変更する(<u>A</u>)
		ドライブマッピングの後処理を行う①
ReadC	ache ティスグ管理ツール	✔ 上級機能を表示する(※)

* **重要** ** 「vDisk によって ReadCache4.6 と ReadCache3.6 (3.5) とが混在する環境における端末側キャッシュの扱いに関す る注意事項」

ReadCache3.6 以前とReadCache4.6 とでは、端末内のキャッシュの構造が大きく変化しているため、1 台の端末内に両バージョンのキャッシュを共存させることはできません。

端末に対する vDisk の割り付けを変更した際に、その vDisk に導入された ReadCache のバージョンが変化する際には、その 都度キャッシュの内容が一旦消去されます。また、複数の系列のキャッシュがある場合には、それらすべての系列のキャッシュ が一旦消去されます。

補足: ReadCache4.0 ~ ReadCache4.6 の混在については、特に問題となることはありません。

※利用上の注意事項 ※

サーバー側に ReadCache サーバーフィルター を導入していない場合には、次の点に特にご注意ください。

・PVS コンソールを用いてディスクのマウント作業をした際には、ReadCache ディスク管理ツールで「マウントの後処理を行う」ボタンを押すようにしてください。この処理を忘れると、端末側のキャッシュとディスクとの間に不整合が生じ、端末が動作しなくなる、vDisk が壊れるといった著しい不具合が生じることになります。

ReadCacheFilter を導入した場合には、この作業は必要ありませんし、マウントを行ったあとにおいても端末側のキャッシュ が消えることもありません。

> ※ Citrix XenDesktop および Provisioning Services は、Citrix Systems, Inc. の米国 および、その他の国における登録商標または商標です。
> ※ ReadCache システム は、株式会社シー・オー・コンヴ の登録商標です。
> ※その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

> > 株式会社 シー・オー・コンヴ ReadCache システム 簡単セットアップ 第2版 ReadCache システム 4.6.2 対応 2017 年 7 月 12 日